



第3回 五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ°

日時 令和8年6月14日（日）午前10時～正午

場所 益富交流館多目的ホール

五ヶ丘地区教育環境検討協議会

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 学校再編で生じることが多い課題と
課題に対する具体的な取組例
- 4 グループワーク

主催者あいさつ

五ヶ丘地区教育環境検討協議会 江口会長

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 学校再編で生じることが多い課題と
課題に対する具体的な取組例
- 4 グループワーク

ワークショップの目的

- 住民主体の話し合いにより「不安や疑問の解消」と「より良い学校のイメージの共有」を図り、**学校再編に対する納得感を高める。**
- 児童数の減少を踏まえて、「学校と子ども」を中心に教育環境について議論し、**市が「学校再編の方向性」の検討に活用する。**
（学校再編計画案に活用していく）

ワークショップの全体スケジュール

テーマ・開催日時	内容
①両小学校の長所・特徴・違い 3月7日（土） 16:00～18:00	・両小学校の引き継ぐべき伝統や良い取組を再発見しましょう。
②小規模化（少人数）の影響 ～人数が多いとできること～ 5月10日（日） 10:00～12:00	・将来の児童数の予測も参考にしながら、学校の様子がどうなっていくのか考えてみましょう。
本日 ③学校再編への不安、心配 6月14日（日） 10:00～12:00	・不安や心配事を話し合い、どう学校再編すべきかまとめましょう。
④子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校①～子ども目線でどんな活動・学び・遊びがしたい？～ 7月19日（日） 10:00～12:00	・新しい学校でいきいき活動するイメージを膨らませましょう。 ・新しい学校で子どもたちと地域の大人が関わり合っていくためのタネ（きっかけ）を植えましょう。
⑤子どもたちが「行きたい」「学びたい」学校②～大人目線でどんな風に活動・学び・遊びを支えたい？～ 8月16日（日） 10:00～12:00	
⑥学校と地域のつながり 9月13日（日） 10:00～12:00	

令和 8 年度の予定

5月～9月	10月～12月	1月～3月	3月末
ワークショップの実施 (第2～6回)	・ワークショップのまとめ ・市による学校再編計画（案）の提示	学校再編計画（案）への意見募集	市による方針決定



この期間に、意見交換の進捗や内容を踏まえて、**市が学校再編計画（案）を作成**します

作成した学校再編計画（案）について、**説明会等により周知**を図ります

いただいた意見等を踏まえ、**学校再編計画を決定**します

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 学校再編で生じることが多い課題と
課題に対する具体的な取組例
- 4 グループワーク

学校再編で生じることが多い課題と取組例 ①

- グループワークの前の参考として、令和7年3月に文科省が作成したパンフレット「公立小中学校の統廃合をお考えの皆さまへ」でまとめられている「学校再編で生じることが多い課題とその対応策の例」の一部を紹介します。
- また、課題に対して具体的に取組まれた全国の事例も合わせて紹介します。

児童生徒にとっての環境変化への対応

- 児童生徒同士の交流
- 統合前後で同じ教員を一定数配置
- 学級編制や担任決定への配慮
- 児童生徒や保護者の不安や悩みに関するアンケートを継続的に実施

学校間交流

R8年度交流計画（案）（小学校の例）

学期	月	活 動	内 容
1 学期	6 月	自己紹介カードの交換	自己紹介カードを再編学校間で交換する
	10 月	中央公園交流会	桃花台中央公園でレクリエーション・遊具遊び等を行う
2 学期	11 月	交流会振り返り交流	振り返りカードを再編学校間で交換する
	時期未定	文化体験交流	落語や和楽器、コンテンポラリーダンスなどを通して交流する
3 学期	2 月	校舎見学会	ブレ登下校時において、校舎見学（桃小・光小）などを行う

※上記の他、オンラインを活用した交流を計画しています。

※市および市教育委員会においても、機を捉えて、児童生徒らの交流の機会を設けてまいります。

18

【愛知県小牧市の取組例】

こどもたちの不安を取り除けるよう、学校再編前から環境に慣れることをねらいとした学校間の交流や、学校同士の合同活動を計画的に推進
 ※小牧市「第5回篠岡地区の学校を考える会」資料より

学校再編で生じることが多い課題と取組例 ②

通学路の安全確保に関する対応

- 通学路の定期的な安全点検、要注意箇所
の把握・周知徹底
- 安全な登下校方策の策定
- 児童生徒の登下校を地域全体で見守
る体制の整備
- スクールゾーンの再設定、街灯、横断歩
道や信号機、防犯カメラ等の整備

新しい学校にも安全に楽しく通学できるように
通学路の安全対策について検討状況をお知らせします

前回の「新たな学校づくり通信」において、学校統合により新しく通学路になる可能性があるポイントについて、児童の登下校の時間を中心に検討会の委員の皆さんと現地調査を実施したことをお知らせしました。

今回は、現地調査の際に委員の皆さんから頂いたご意見を紹介します。

通学路の安全対策については、これらのご意見を踏まえ、新しい通学区域の通学路設定に向けて引き続き様々な関係者の皆さんと検討を進めていきます。

■現地確認での主なご意見

- ・ 歩道・路側帯が狭い
- ・ 店舗への出入りの車が危険
- ・ (車・バイク・自転車の) 交通量が多く危険
- ・ バス・トラックなどの大型車が多い道路の横断が危険
- ・ 歩道を走る自転車が危険
- ・ 道が暗く歩行が危険、不審者も心配
- ・ (カーブ・坂の頂上・植栽などで) 見通しが悪い
- ・ 信号待ちスペースが狭い
- ・ 最短距離に横断歩道がない
- ・ 道路の片側を通学路にすべき
- ・ 周辺環境が通学路に適さない

【東京都町田市取組例】

学校再編に向けて、新しい通学路となるルートを保護者や地域と合同で現地調査を行い、要注意箇所や対策を要する場所などを洗い出し

※町田市教育委員会発行「まちだの新たな学校づくり通信」より

学校再編で生じることが多い課題と取組例 ③

地域との関係の希薄化を防ぐ工夫

- 地域の方々に学校に参画いただくコミュニティ・スクールや地域学校協働本部等を導入
- 統合後の学校の教育活動に、統合対象各地区の教育資源を積極的に活用

【広島県福山市の取組例】

再編後の学校で、地域とのつながりを大切にし、それぞれの地域の多彩な資源を活用した教育活動を展開（例は「福山市立想青学園」）

※福山市HP「学校再編後の地域学習」より

【新教科】SOSEI学（そうせいがく）

「地域探究・地域創生」を目標に、内海・沼隈の多彩な地域資源を活用し、企業や地域、行政から出されたミッションの達成に向け、調査・分析・実践に取り組んでいます。



▲ 地元企業によるカキの養殖体験



▲ 内海・沼隈の良さがつまったラッピングスクールバスの考案

(参考) これまでのグループワークで出た「不安・心配」

○第1回「両小学校の長所・特徴・違い」と第2回「小規模化の影響～人数が多いとできること～」を話し合う中でも、不安や心配となる意見が挙がりました。

授業や学習への影響

- 手を挙げても当てられなくなる
- 競争に打ちのめされるかも
- 一人一人しっかり見てもらえない
- ついていけない子が出てくる

人間関係への影響

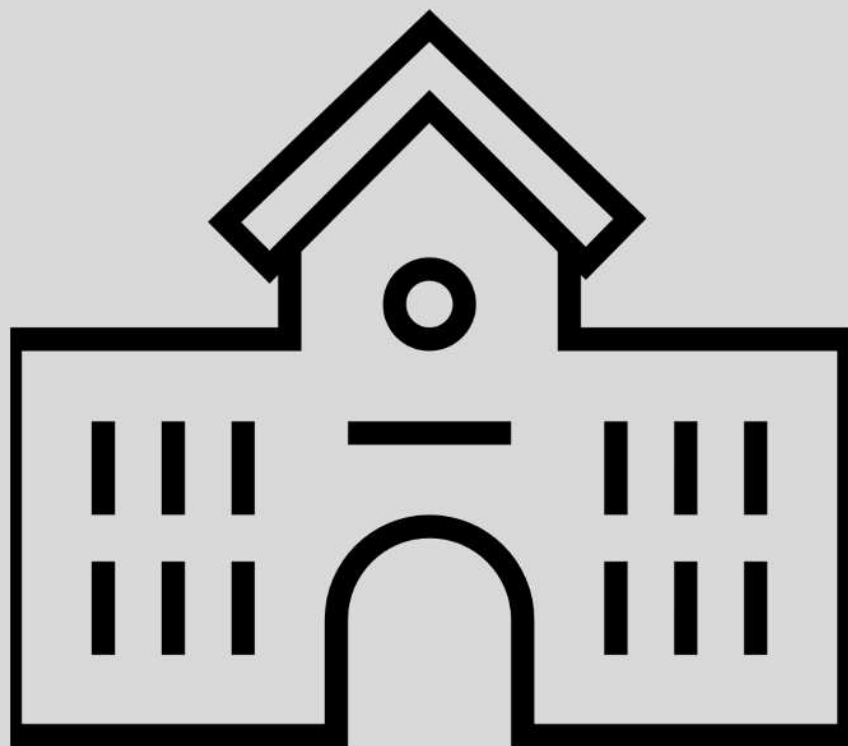
- 上下の交流が減ってしまう
- 問題児が増えるかもしれない

学校生活への影響

- 行事で保護者の見学が大変になる
- 行事やイベントに出場したり活躍する機会が減ってしまう

グループワーク

学校再編への不安、心配



ありがとうございました

豊田市ホームページに
豊田市の学校再編の取組や
五ヶ丘地区学校再編検討協議会について
掲載しています。

＜豊田市ホームページ＞

くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等
に対応したより良い教育環境の実現に向け
た取組